

特別支援学級 浜の子 作業学習 学習指導案

日 時：平成25年11月21日

1 単元名 「スイーツデコ マカロン小物をつくろう」

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、粘土で作ったマカロン型にデコレーションをして3種類の小物を作り、クリスマスパーティーの景品として納品する活動である。この作業学習を通して、友だちと協力して制作する経験を繰り返し体験させ、「人とかかわる力」を育むことを大切にしたい。今回の作業学習では、「絵の具の組み合わせで粘土に色をつける」「粘土をよくこねる」「粘土を平らにする」「型を押して型抜きをする」「成形をする」「クリームをはさむ」「金具をつける」「飾りつけをする」「ラッピングをする」といった作業工程であり、段階的な指導として、分担しながら取り組ませることができる。色を混ぜて粘土の色をつくることで、色彩に興味を持たせたり、よくこねることで作品の出来栄が変わることも感じさせることができる。形になるまで、より時間がかかる作業になる。粘土も柔らかいものなので、力の加減が必要である。与えられた手順や指示を守って作業しながら、準備から最後まで、主体的に活動に取り組む姿勢を身につけたい。

(2) 生徒観

本学級は、2名の生徒が在籍している。どちらも作業をして集中が切れると力が入り、仕事が雑になる。身辺自立していない様子もある。生徒Sは、社交的ではあるが、敬語が苦手である。手先は器用ではない。生徒Dは、目を合わせたり、声に出して話すのが苦手であり、特にも継続して作業するのは苦手である。けんかになることが多い。作品は、黒にこだわって作るが多かった。手先は器用である。3年生になってからは、どちらも成長の様子が見られている。

(3) 指導観

本単元では、始めにオリエンテーションを実施し、実物を見せながら、基礎的な道具の扱いや手順について、一通り確認させる。手順にも作品を良く仕上げるための理由があることを理解させる。その後、分担して作業を経験させ、技能の向上を図っていききたい。補助具も活用させたい。終始、活動の流れを一定にし、主体的に取り組めるようにしていきたい。

また、協力して活動する態度を養うために、聞く・話すといった言語活動を取り入れている。挨拶、相談、報告、活動の反省の場を設け、支援カードや教師の声掛けにより、段階的に指導していきたい。

3 単元の目標

①発表活動を通して、みんなと協力して望ましい勤労習慣をつくることができる。

②自己の技能や知識を高め、正確な手順で、きれいな仕上がりの製品をつくることができる。

(個) (S) ①進んで、丁寧な言葉で(敬語、～さん)、あいさつ・相談・報告・反省の発表ができる。

②道具の扱いや手順を守って、進んで製品をつくることができる

(D) ①進んで、相手の目を見て、あいさつ・相談・報告・反省の発表ができる。

②道具の扱いや手順を守って、進んで製品をつくることができる

4 指導計画

(1) オリエンテーション (2h)

(2) マカロン本体づくり (2h)

(3) 飾りつけ・金具つけ [3種 磁石・ワニクリップ・キーホルダー] (3h) (本時 3/3時間)

(4) ラッピング (1h)

(5) クリスマスパーティーへの納品・活用 (1h)

5 本時の指導

(1) 目標

- ①進んで、「できました」「材料がなくなりました」などの状況に応じた報告ができる。
- ②道具の扱い方や手順を理解し、進んで取り組むことができる。
- (個) (S) ①進んで、丁寧な言葉づかいで(敬語、～さん)、状況にあった報告ができる。
- ②道具の扱いや手順を守って製品をつくることができる。
- (D) ①進んで、相手の目を見て、状況にあった報告ができる。
- ②道具の扱いや手順を守って製品をつくることができる。

(2) 展開

時間	学習活動 / 言語活動	○支援 ・指導上の留意点
導入 10分	1 <u>あいさつ</u> 2 身なりの点検(手洗い・服装・つめ) 3 始めの会 ・今日の 作業内容の確認 ・ <u>作業の目標確認</u> 相談して、今日の作業目標を決定する 日直が決まった数を発表する	・姿勢を正す(S)目を合わせる(D)を重点にあいさつをさせる (T1) ○出来ていない場合は、指さしをしたりして促す (T2) ・服装(S)手洗い・つめ(D)を重点に点検(T1・T2) ・黒板に作業の分担が分かるように示す。 (T1) ・実物で流れを確認させる。 (T1) ○進捗状況の表を見せながら、相談させる。 (T1) ○手を添えたり、励ましの言葉をかけるなどして、発表ができるようにする (T2)
展開1 20分	4 クリーム係とトッピング係に分かれて、自分の作業に取り組む ・道具を持ってくる(金具はキーホルダー用) ・扱いや手順を守って作業を進める (教師と生徒の2人1組で同じ作業をする) シートを見ながら、コツの確認をする <u>困ったことがあったり、準備や作業が終わった時は各教師に報告する</u>	・教師は一人の生徒の作業支援を始めから最後までみる。 (T1・T2) ○補助具も使って、作業ができるようにする (T1・T2) ○様子を見て、報告できていない時は、報告カードを見るように促す。見ないでもう一度言わせるようにする。教師は、困ったこと良かったことなどをメモしておく (T1・T2)
展開2 10分	5 片づけをする ・片づけが終わったら、担当教師に報告する ・作業ファイルをもらい、記入する。終わったら黒板のカードをめくる。	・洗い物がある時は、教師と行う (T1・T2) ・必要があれば、やり直しをさせる。 (T1・T2) ・ 作業ファイルを渡し、記入の支援をする。終わったら黒板のカードをめくらせる。(T1・T2) ・作業黒板のOK状況を確認する (T1)
終末 10分	6 <u>終わりの会</u> ・ <u>作業の振り返りを一人ずつ発表する。</u> 7 <u>あいさつ</u>	○生徒が発表した後には、全員で拍手したり、賞賛の言葉かけを促す。 (T1・T2) ・始めと同じ重点で、挨拶をさせる (T1・T2)

(3) 生徒の評価

- (S) ①進んで、丁寧な言葉づかいで(敬語、～さん)、状況にあった報告ができたか。
- ②道具の扱いや手順を守って製品をつくることができたか。
- (D) ①進んで、相手の目を見て、状況にあった報告ができたか。
- ②扱いや手順を守って製品をつくることができたか。